

■バルーンアートで、患者さんやご家族に和みのひとときを！

ボランティアサークル「ほほえみ」

ボランティアサークル「ほほえみ」は、2007年から毎月1回、九州大学病院の小児医療センタープレイルームで、バルーンアートの制作などを通じ、患者さんやご家族に癒しのひと時を届ける活動を行っています。普段、つらい治療に耐えて、病気に闘っている患者さんはもちろんのこと、付き添いのご家族にも、ホッと笑顔になってもらうことができれば、との思いから10年以上に及び活動が続けられています。

バルーンアートは、色とりどりの風船を大小さまざまに膨らませて、ねじったり、曲げたりしながら動物や花、剣などを形作っていきます。

最初はバルーンが割れはしないかと、こわごわさわる子どもたちも、動物やキャラクターが次第に形作られていくと、笑顔がはじけ、夢中になります。ご家族も子どもと一緒に制作しながら笑みがこぼれ、なごやかな時間を過ごしています。

また、活動に参加できない患者さんには、バルーンを病室に

届けるなど、少しでも一緒に楽しんでもらえるよう工夫しています。

年に一度、サークルでは「バルーンフェスティバル」と題し、あふれんばかりのバルーンで部屋を飾り、ゲームなどのイベントも開催しています。

活動日 毎月1回 第4木曜日または金曜日
11:00-12:30

※毎年8月はサマーバルーンフェスティバル開催
活動場所 北棟6階小児医療センター プレイルーム

《お問い合わせ先》

九州大学病院患者サービス課医事係
TEL : 092-642-5981
e-mail : byniji@jimu.kyushu-u.ac.jp



病院にお越しの際は保険証をお忘れなく！

※保険証の提示がない場合には、保険での取扱いができません。



九州大学病院（病院キャンパス）は敷地内全面禁煙です。

■病院の理念

患者さんに満足され、医療人も満足する医療の実現を目指します。

■基本方針【理念に基づく実行目標として、下記の5つを掲げています】

- ①広域医療圏拠点としての連携体制の構築
- ②高度先進医療を支える医学研究の推進
- ③全人的医療を実践する医療人の養成
- ④小児から高齢者まで包括する移行期医療の充実
- ⑤国際化の推進



九州大学病院
KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL

第68号
平成30年4月

九大病院だより

九州大学病院 広報委員会発行

■新しい4年間に向けて——着任のご挨拶

九州大学病院は110年を超える歴史を有し、1,400床を超える病床数を誇る大学病院で、約3,000人の職員が、最新・最善の医療を安全に提供することを使命として働いています。医学部（医学科・保健学科・生命科学科）と歯学部（歯学部）の二部局統合体として運営されており、診療・研究・教育のすべてにおいてわが国をリードする病院です。

最近の科学技術の進歩により、遺伝子レベルでの病態解明が進み、新しい診断技術が開発され、さらに分子標的薬、ロボット手術などの新しい治療法が医療現場に急速に導入されつつあります。このようななかで、九州大学病院が、福岡市、福岡県、九州、西日本地域など各々の医療圏において、今まで以上に「最後の砦」としての役割を担っていくために、国が主導する仕組みと連動しながら広域医療圏拠点としての体制づくりを心を砕く必要があります。

救急医療、産科・小児科領域から高齢者医療まで途切れることのない医療を展開し、地域に信頼される医療機関を目指します。医学部医学科・保健学科、歯学部、薬学部などすべての職員が連携するための体制を整備し、全人的医療の提供に努めます。また、九州大学病院は、革新的医薬品・医療機器などの開発を推進する、九州で唯一の「臨床研究中核病院」であり、さらに、患者個人に適した精密医療を進めるための「がんゲノム医療中核拠点病院」にも選定されたばかりです。

これらの仕組みを最大限に活用し、西日本、九州地域の大学病院、さらに基礎教室とも協力して、世界最先端医療技術の創出と、それを支える優れた医療人（医師、歯科医



師、看護師、薬剤師、医療技術者など）の育成に力を注ぎます。また、外国人受診者数も急速に増えており、国外からも信頼される病院として、さらに国際性を高めていきます。

これら将来への展望のすべてが、健全な病院経営に掛かっています。医療経済が激動するなかでそれを堅持していくためには、全職員が知恵を出し合い、さまざまな戦略に対する適切な投資と、医療効率を高める努力とが必要で、本病院の理念である「患者さんに満足され、医療人も満足する医療を実現」するために、すべての職員が誇りをもって医療に参加できる、最先端の高度先進医療を創出できる、それを全人的に効率よく提供できる九州大学病院として、さらなる高みを目指していきたいと考えています。

皆さまのご理解とご支援を、何卒よろしくお願い申し上げます。

2018年4月

病院長 赤司 浩一
Director Koichi Akashi



九州大学病院
KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL

TEL 092-641-1151 [代表] FAX 092-642-5146 [外来]
〒812-8582 福岡市東区島出3丁目1番1号
(ホームページ) <http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp>

▶▶▶ 診療科のご案内 ①

呼吸器外科(2)

当科では、呼吸器外科専門医、がん治療医を中心として肺と縦隔(両肺の間)のがんや良性腫瘍、気胸(肺に小さな穴が開いて肺がしばむ病気)などの診療を行っています。なるべく多くの呼吸器疾患に対応できるよう、つねに呼吸器科、放射線科(診断部・治療部)と緊密に連携を取りながら治療を行います。

CT 検診などで見つかった早期の肺がんに対しては、「胸腔鏡」というビデオスコープを用いることにより、なるべく傷を小さくして肺を小さめに切除する縮小手術を取り入れています。

また、進行して周囲に浸潤してしまった肺がん

も、手術前に化学療法や放射線療法を行うことでがんを小さくし、切除を行う集学的治療を行っています。胸の病気に関しては、何でもお気軽にご相談ください。

呼吸器外科(2): <http://www.kyudal2geka.com/>



胸腔鏡ビデオスコープ(左)と胸腔鏡手術の傷

▶▶▶ 診療科のご案内 ②

口腔総合診療科

口腔総合診療科では、各分野の専門医がチームを組み、虫歯や歯周病の治療と予防処置、金属あるいはセラミックなどの各種冠、ブリッジ、各種の義歯、さらには抜歯(親知らずの抜歯を含む)とその他の外科小手術など、歯科全般にわたる治療を行います。

治療終了後には再発予防のための定期的な口腔管理も行います。口腔乾燥症の患者さんの口腔ケアや、顎(がく)関節症の治療も行っています。

インプラントや再生療法など高度な専門的治療が必要な場合や、重篤な全身疾患がある場合でも専門診療科と連携し、患者さんのご希望に沿うように、安全な治療を提供しています。

「80歳になっても20本以上の自分の歯を保ち、豊かな人生を」という考えのもとに、「8020運動」を展開しています。

この目標に向けて、スタッフ一同は皆さんのお口の健康をお守りいたします。

口腔総合診療科: <http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/shiryo/dent/11/index.html>



各分野の専門医がチームを組んで診療にあたります

■ 4月2日 百年講堂にカフェ・レストランがオープン!

国内はもとより、国際的な学会も開催され、また、市民講座などでも広く親しまれている、九州大学医学部百年講堂に、4月2日(月)「Century Cafe」がオープンします。

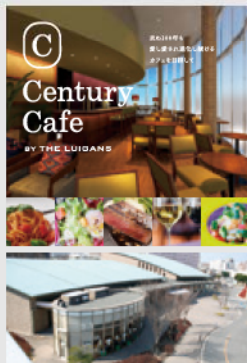
海の中道で、ラグジュアリーリゾートを提供するホテル「ザ・ルイガンズ」が、運営します。

気軽に立ち寄れるカフェスタイルなので、飲み物から軽食、また本格的な洋食まで、多彩にご利用いただけます。ご利用は予約も可能です。日差しもあたたかくなったこの頃、散歩がてらに出かけてみませんか。

営業時間

平日/10:00-18:00 土・日・祝日/10:00-17:00

連絡先: Century Cafe TEL: 092-409-3560 (予約可)

福岡ソフトバンクホークス・工藤監督が
小児医療センターを再訪

1月26日(金)に、福岡ソフトバンクホークスの工藤公康監督が、昨夏に引き続き再び小児医療センターを訪れ、入院中の子どもたちとふれ合いました。

子どもたちは、思い思いの応援ユニフォームをまとい、工藤監督を拍手でセンターのプレイルームに迎えました。

工藤監督は、昨年の日本一の報告とともに、来シーズンの抱負や今年のスローガンである「もう1頂!」について熱く語りました。「どんな選手が活躍できそうですか?」という子どもたちの質問に、監督からは次々に期待の選手の名前があげられました。

子どもたちは、直筆のサイン入りカードやマスコットなどを手渡され、大事そうにかかえて、別れを惜しむようにそれぞれの病室へ戻って行きました。また、工藤監督は病室を離れられない子どもたちの元にも足を運び、言葉を交わし、子どもたちを励ました。

楽しい交流のひとつで、子どもたちも工藤監督から、工藤監督は子どもたちから、たくさんの力をもらったようです。

九州大学病院別府病院
リハビリテーション科

この度、当部は、これまでの「慢性疾患診療部」から「リハビリテーション科」に名称を変更しました。現在は、医師2人と理学療法士6人、作業療法士1人、技能補佐員1人で診療にあたっています。さまざまな疾患によって低下した身体機能を、個々の患者さんがそのらしく生活できるよう回復を促し、自立した社会生活機能を最大限に向上させるよう、リハビリテーションを提供しています。

2011年に新設された整形外科では脊椎・脊髄疾患に特化した診療に加え、手術前後の運動器リハビリテーションを行っています。また、本院の内科の特徴である関節リウマチや膠原病、血液疾患のほか、パーキンソン病、心疾患、脳血管障害、高齢者の生活習慣病や呼吸器疾患、悪性腫瘍を対象とした「がんのリハビリテーション」も行っていきます。

また、本院のリハビリテーションの特徴として、通常の施設に加えて、温泉湧出量日本一の特徴を活かした温泉プール、温泉鉱泥浴(泥湯)などの温泉リハビリテーション施設の利用があげられます。温泉プールでは、理学療法士がプールに入って運動指導を行っています。

今後も、ひとりでも多くの患者さんやそのご家族のお役に立てるように、診療に取り組んでいきたいと考えています。



温泉プールで理学療法士が運動指導を行います

■ 恵愛団ファミリーハウス「森の家」ご利用案内

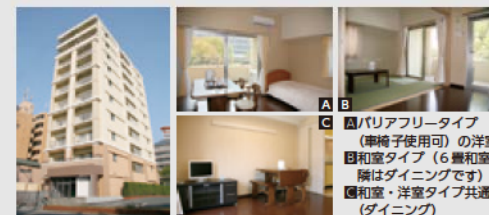
本院の関連団体である一般財団法人恵愛団^(*)は、おもに小児科と小児外科などに入院中の、患者さんご家族向け宿泊施設「森の家」を運営しています。

宿泊施設は洋室4室、和室3室の計7室で、洋室にはご家族と一時外泊をする患者さんのために、車椅子が利用できるバリアフリータイプも2室設けています。

室内にはテレビ、冷蔵庫、電子レンジ、洗濯機のほか、キッチンも備えていますので、自炊も可能です。建物は鉄筋コンクリート10階建。1階は恵愛団森の家薬局、2、3階の7室はご家族向けに1泊1室2,000円で提供いたします(施設使用料別途)。

宿泊の予約や詳細については、下記までお問い合わせください。

問い合わせ:(一財)恵愛団 総務
TEL: 092-642-6853 (平日8:30-17:00)



<料金表(一例)>

	部屋料金	施設利用料		
		1名様利用	2名様利用	3名様利用
1泊	2,000円	250円	500円	750円
2泊	4,000円	350円	700円	1,050円
3泊	6,000円	350円	700円	1,050円

* 恵愛団は本院と九州大学医学部における医学研究を奨励助成し、本院の患者さんの入院サポートなどの事業活動を行う財団法人で、明治44年に当時の九州帝国大学総長・山川健次郎博士の寄付金によって設立されました。